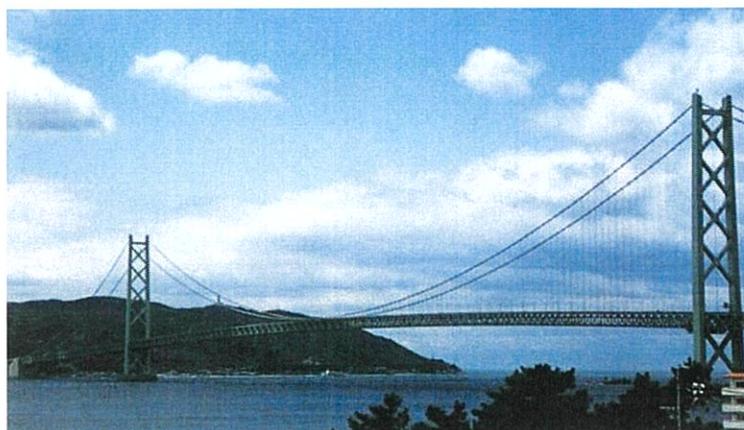
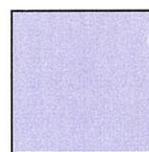


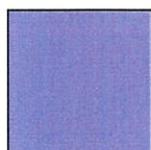
発行日：2024年 7月 17日

2023年度 環境経営レポート

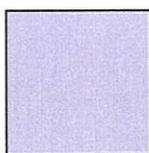
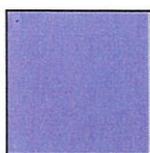
(対象期間：2023年4月～2024年3月)



神鋼鋼線工業株式会社
ロープ製造所（尾上）



承認	起案	作成
環境管理統括者	環境管理責任者	事務局
		



1. ごあいさつ

神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所（尾上）は、環境に配慮し社会に貢献する企業として従来からの環境活動をさらに積極的に展開すべく、2007年10月に環境省の推奨するエコアクション21の認証・登録を取得し、環境負荷低減に向け引き続き活動を展開しております。

さて私たちの製造所では、ワイヤロープ並びにロープ加工品を生産しており、その品種・用途は多岐にわたっております。使用される環境に最適な製品を供給できるよう、つねにユーザーの視点に立ち、社会のニーズと信頼に応えられるよう高品質な製品の提供に努めています。

ワイヤロープは、各種クレーン・建設現場等で広く用いられているだけでなく、明石海峡大橋に代表される橋梁用や、美観と景観に配慮した建築分野などにも用いられています。私たちはワイヤロープの高強度化・高耐食化を進めており、ワイヤロープの軽量化、長寿命化によって資源の使用削減に貢献していると考えています。

2023年度の活動について「環境活動レポート」をまとめておりますのでご高覧の上、御指導、御指摘頂ければ幸いです。

環境経営方針

基本理念

環境問題は、20世紀の大量消費・大量廃棄の経済社会が生み出した負の遺産として、地域レベルにとどまらず、地球規模で気候変動を引き起こすなど地球全体に広がり、生態系にも大きい影響を与えています。私たちは、かけがえのない人類共通の財産である地球環境を保全し、次世代に引き継いでいく責任が問われています。

神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所(尾上)は、お客様や社会にとってかけがえのない存在であり続けるため、2050年カーボンニュートラル社会の実現に挑戦しています。E A 2 1に基づく環境経営システムを構築し、高い環境意識を持って、生産活動で生ずる環境への負荷を低減させる取り組みを行い、製品・技術・サービスでの環境への貢献 及び 地域社会と共生・協調し地球環境の保全に努めていきます。

環境経営方針

1. 環境関連の法規・協定およびその他の要求事項を順守します。
2. 環境経営システムを確立し、環境目標を定め定期的に見直しを行い、月例会議でフォロー、環境負荷低減のため継続的改善を行っていきます。
3. 具体的な取り組みとして以下のことを推進します。
 - ① 電力・ガスの合理的な使用により、省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を抑制していきます。
 - ② 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、省資源化とリサイクル化を推進致します。
 - ③ 工業用水の使用量を削減します。
 - ④ 化学物質等の管理を徹底し、排出及び流出を予防するとともに、環境負荷低減に努めます。
 - ⑤ 職場環境を改善していくために、工場内の5Sを推進致します。
4. 環境管理担当者や現場におけるキーマン育成、必要な資格取得者の確保を図ります。
5. 方針は掲示し、全従業員に周知します。
6. 環境活動レポートを社内外に公表し、全従業員の環境経営システムの理解と環境に関する意識向上を図ります。

2023年 4月1日 改定

2006年 11月1日 制定

神鋼鋼線工業株式会社
ロープ製造所(尾上)
副所長 堀川 健一

2. 事業所の概要

1) 対象事業所及び代表者名

事業所名 : 神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所 (尾上)

代表者名 : 執行役員 ロープ製造所 副所長 堀川 健一 (環境管理統括者)

2) 所在地

神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所 (尾上)

住 所 : 〒675-0027 兵庫県加古川市尾上町今福128番地

電 話 : TEL 079-424-2681 (代) FAX 079-424-2686

尾上ロープ加工株式会社

住 所 : 〒675-0027 兵庫県加古川市尾上町今福128番地

電 話 : TEL 079-427-5107 FAX 079-427-5117

3) 環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 瀧本 英俊 (環境防災・安全衛生室長)

担当者 : 片山 幸一

連絡先 : TEL 079-424-2681

FAX 079-424-2686

4) 事業内容

一般ワイヤロープ・特殊ワイヤロープ・ロープ加工品の製造・技術サービス

5) 事業の規模 (2023年度実績)

製品出荷額 : 5,402百万円/年

ロープ生産量 : 16,132トン/年

従業員数 : 222名 (2024年4月1日現在)

敷地面積 : 108,484㎡

6) 対象範囲 (認証登録範囲)

対象事業所 : 神鋼鋼線工業株式会社 ロープ製造所 (尾上)

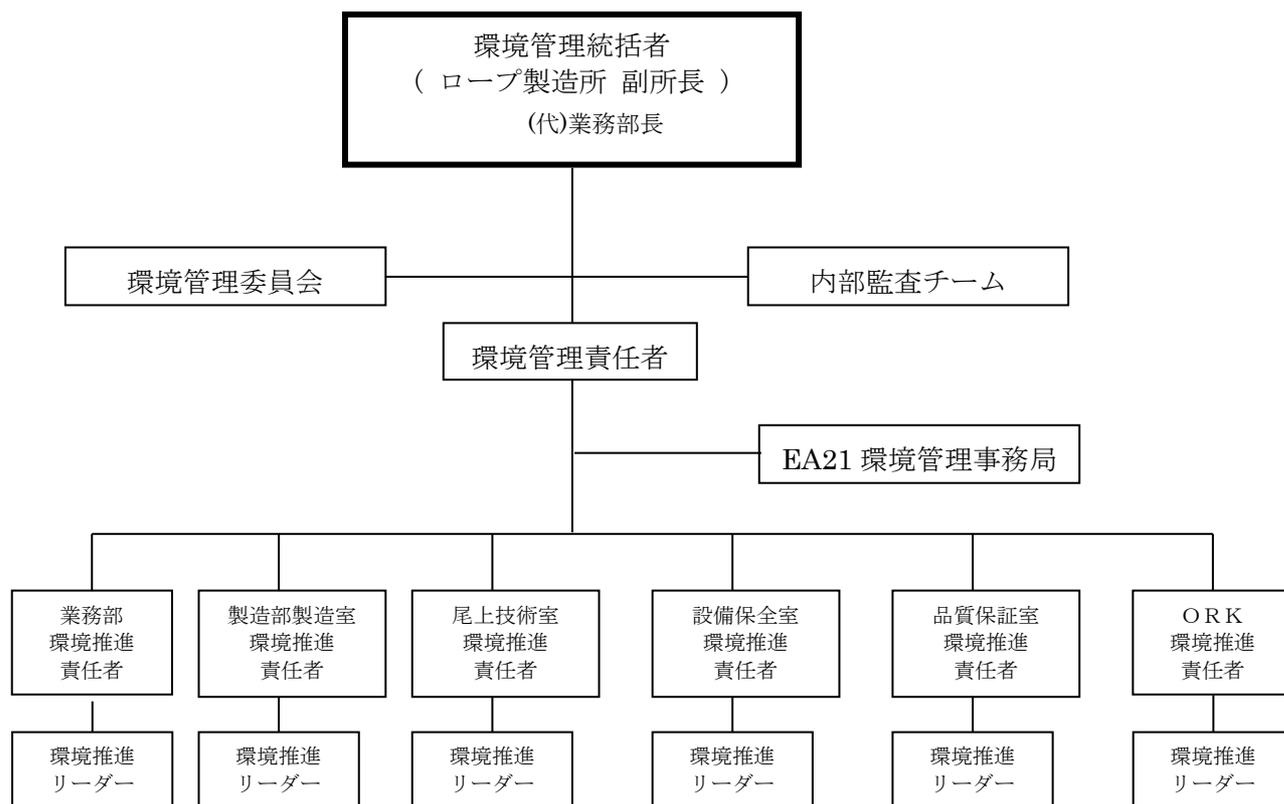
尾上ロープ加工株式会社

対象活動範囲 : 一般ワイヤロープ・特殊ワイヤロープ・ロープ加工品の製造・技術サービス

7) 他の事業所の取得状況

事業所	所在地	取組状況
尼崎事業所 (本社、開発部を含む)	尼崎市中浜町 10 番地 1	認証・登録済 (認証・登録番号: 0001631)
東京支店	東京都品川区北品川 5 丁目 9 番 12 号	2010 年度 尼崎事業所 の認証登録範囲を含む
大阪支店	大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号	
九州支店	福岡市博多区博多駅中央街 1 番 1 号	
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅南 2 丁目 14 番 19 号	
札幌営業所	札幌市中央区北四条西 5 丁目 1 番地 3 号	
ロープ製造所 (二色浜)	貝塚市二色中町 11 番 1 号	認証・登録済 (認証・登録番号: 0003697)

8) 環境経営システム組織図



※ ORK : 尾上ロープ加工株式会社

[当事業所全景]



[環境設備]



3. 環境目標とその実績

ロープ製造所(尾上)における環境目標と実績は次のとおりです。

項目			2021年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
			実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標
製品生産量		ton	18,365	17,492	—	16,132	—	—	—
二酸化炭素	総排出量	kg-CO2	6,888,898	6,755,091	—	6,263,542	—	—	—
	生産量当り	kg-CO2/t	375.1	386.2	382.3	388.3	378.5	374.7	371.0
	達成率(*4)	%	100.1	96	—	98.5	—	—	—
都市ガス(*5)	排出量(*1)	kg-CO2	2,883,904	2,878,688	—	2,668,087	—	—	—
	生産量当り	Nm3/ton	70.0	73.3	72.6	73.7	71.9	71.2	70.4
	達成率(*4)	%	104.5	94.5	—	98.5	—	—	—
電力(*5)	排出量(*2)	kg-CO2	3,954,092	3,829,175	—	3,550,502	—	—	—
	生産量当り	kWh/ton	613.4	624	617.4	627.0	611.3	605.2	599.1
	達成率(*4)	%	100.1	97	—	98.5	—	—	—
工業用水(*5)	使用量	m3	253,760	250,564	—	250,051	—	—	—
	生産量当り	m3/ton	13.8	14	14.2	15.5	14.0	13.9	13.8
	達成率(*4)	%	97.6	95	—	91.5	—	—	—
産業廃棄物(*5)	排出量	ton	869	855	—	807	—	—	—
	生産量当り	kg/ton	47.3	49	48.4	50.0	47.9	47.4	47.0
	達成率(*4)	%	127.6	96	—	96.8	—	—	—
化学物質の管理(*3)	総使用量	kg	34,408	21,014	—	32,857	—	—	—
	事故件数	件	0	0	0	0	0	0	0

(*1) 都市ガスの各年度における CO2 排出係数は以下の値を使用し算出した。

排出係数 0.0499 (kg-CO2/MJ), 都市ガス単位発熱量 45 (MJ/Nm3)

(*2) 電力の CO2 排出係数は 2021 年度を基準とし 0.351 で算出した。(単位 : kg-CO2/kWh)

(*3) 化学物質については、鉛、亜鉛及びその化合物、ほう素及びその化合物の管理である。

(*4) 達成率 (%) は、目標/実績×100 とした。

(*5) 2024~2026 年度の目標値は、前年度比 1%減とした。

4. 主な環境活動計画の内容

環境目標の達成のため、次の通り活動計画を立てました。

(1)都市ガス 13A 使用量の削減(CO2 排出量の削減)

年度削減目標：「生産原単位を前年度比 1.0% 削減する」

- 施策：① 炉の燃焼管理と効率的な稼働
② 保温槽の温度管理
③ 蒸気漏れ点検・修理の実施
④ ガス空調の室温管理

(2)使用電力の削減 (CO2 排出量の削減)

年度削減目標：「生産原単位を前年度比 1.0% 削減する」

- 施策：① 事務所電力の削減（空調温度管理・照明の不在時消灯）
② 工場付帯設備（照明・冷暖房機器・換気扇等）の不要時 OFF 徹底
③ エアー漏れ点検・修理（コンプレッサー電力の削減）
④ 油タンクの温度管理による電力削減
⑤ 待機電力の削減
⑥ 高効率設備への計画的更新（変圧器、工場照明の LED 化等）

(3)工業用水使用量の削減（排水量の削減）

年度削減目標：「生産原単位を前年度比 1.0% 削減する。」

- 施策：① 工業用水の取水管理・制限
② 設備の整備・改善による冷却水の低減
③ 水漏れの点検・修理
※一般上水については、節水を行動目標とする

(4)廃棄物の削減

年度削減目標：「生産原単位を前年度比 1.0% 削減する。」

- 施策：産業廃棄物
① 分別回収の徹底・廃棄量の測定
② 産業廃棄物の削減（分別・再利用化）
③ 排出量の管理
一般廃棄物（行動目標）
① 廃棄物の分別徹底
② コピー用紙の廃棄量削減（電子化、裏面・両面コピー）

(5)化学物質の管理

年度目標：事業所外への流出事故 0 件の達成

- 施策：① 使用物質の調査，保管状況の確認
② 排水処理設備の維持管理
③ 緊急事態訓練の実施

④ 排水処理設備の保全・改善

(6)自らが生産・販売・提供する商品の環境配慮

- 施 策 : ① 品質改善PJの推進
② 再生木枠の拡大, 木枠の簡素化

(7)職場環境の改善

- 施 策 : ① 燃線機の油汚れによる職場環境の改善
② 伸線機の粉塵汚れによる職場環境の改善
5 Sの推進・定期清掃の実施

5. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

2023年4月～2024年3月度の環境活動評価は、下記のとおりです。

(1) 都市ガス使用量の削減

都市ガスの使用量は、ボイラーや熱処理炉の燃焼状態について適正管理することにより、使用量の適正化を図っています。2023年度は、生産量減少のため、原単位で前年度比1.0%削減目標に対して、達成率98.5%となりました。引き続き改善可能な箇所を調査し、目標達成に向けて努力します。

- ① 炉の燃焼管理の実施として、計画的に定期点検を実施しています。
- ② 蒸気漏れ箇所の随時補修を行っています。
- ③ 熱処理工程における工程見直しを行います。
- ④ 保温材及びスチームトラップの定期点検・取替えを継続的に実施しています。
- ⑤ ガス空調機器の適正温度運転を継続し実施しています。

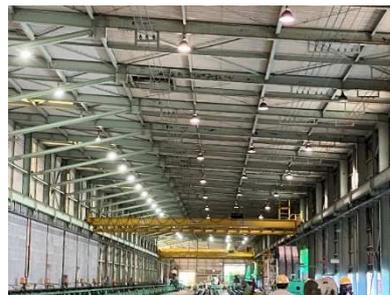
(2) 電力使用量の削減

電力使用量については、工場照明のLED化や工業用送水ポンプの高効率モーターへの更新、コンプレッサーのエアリーク低減及び長期連休における待機電力の削減等を行いました。しかしながら生産量が減少したため、原単位においては、前年比1.0%削減目標に対して、達成率98.5%となりました。引き続き改善可能な箇所を調査し、目標達成に向けて努力します。

- ① 生産設備主モーターのインバータ化を計画的に実施します。
- ② 電気加熱ヒーター使用設備の温度管理及び清掃による効率的な稼働を実施します。
- ③ 生産工程見直しによる生産効率向上を図ります
- ④ エアリーク箇所の随時補修を行います。
- ⑤ 冷暖房機器の温度管理及び定期清掃ならびに照明の不要時節電活動を継続的に実施しています。
- ⑥ 2024年度計画として、工場照明のLED化を計画しています。



[工業用送水ポンプの高効率モーター化]



[工場照明 LED化]

(3) 工業用水使用量の削減

工業用水の使用量は、取水量管理の徹底と節水に対する意識付け活動を行いました。生産量が減少したため、原単位につきましては、前年度比 1.0%削減目標に対して達成率 91.5%となりました。引き続き改善可能な個所を調査し、目標達成に向けて努力します。

(4) 廃棄物の削減及び分別回収

事業所内の廃棄物置場の整備・表示や事務系ゴミ(一般ゴミ)及び産業廃棄物の分別回収の徹底を継続して活動しています。

2023 年度は、生産量が減少したため、原単位で前年度比 1.0%削減目標に対して、達成率 96.8%となりました。引き続き活動を行い、目標達成に向けて努力します。

(5) 化学物質の管理

毎月使用量の把握、保管状況の確認に努めています。

また計画的に設備の更新・維持管理を行い事業所外への流出事故防止に努めています。

なお事業所外への流出事故はなく目標達成いたしました。今年度も活動を継続いたします。

(6) 自らが生産・販売・提供する商品の環境配慮

これまでの活動をプロジェクト化し、継続的に品質改善活動に取り組んでいます。

客先及び生産に多大な影響を及ぼす項目に絞り、取り組んだ結果一定の成果を上げることができました。今年度も活動を推進いたします。

(7) その他の取組 (職場環境の改善)

① 新設ステンレス撚線機を 5 S モデル機として、工場全体で職場環境の改善の意識付けを図りました。

② 撚線機の油汚れの改善

③ 伸線機の粉じん汚れの改善

職場環境の改善を図るため、5 S の推進を継続して実施いたします。

(8) 環境教育と啓蒙

E A 2 1 の運用に加え、事業所一体となった省エネ活動を行うことで、従業員の環境負荷への影響に対する意識がさらに向上してきたと考えています。引き続き、環境教育と環境改善活動を推進していきます。

また環境重要設備における緊急事態の想定として、緊急事態手順書を作成し、関連部署にて年1回緊急事態を想定した訓練を実施し、その内容について記録しています。

6. 環境関連法規制等の遵守状況

1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守状況
大気汚染防止法	ばい煙発生施設 排ガス基準値遵守	遵守
水質汚濁防止法	特定施設の管理 工場排水の基準値遵守	遵守
瀬戸内環境保全特別措置法	同上	遵守
騒音規制法	騒音規制値の遵守	遵守
振動規制法	振動規制値の遵守	遵守
特定工場に置ける公害防止組織の整備に関する法律	環境管理組織、公害防止管理者選任	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正保管、処理 マニフェストの管理、適正な契約	遵守
PRTR 法	排出量の把握及び管理の改善の推進 PRTR 法に基づく届出	遵守
PCB 特別措置法	適正保管	遵守
エネルギー使用の合理化に関する法律	省エネ推進	遵守
消防法(危険物)	危険物取扱所の許可・届出 保管数量順守	遵守
フロン排出抑制法	機器の定期点検・記録 廃却時の処置遵守	遵守

2) 環境関連法規等の遵守状況については定期評価の結果、違反・逸脱はありませんでした。また、関係機関からの違反等の指摘及び訴訟等はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し (実施日：2024年7月16日 ロープ製造所副所長 堀川健一)

2023年度は、工場照明のLED化や高効率モーターへの更新を実施しました。しかしながら生産量が減少したため、ガス(達成率98.5%)・電力(達成率98.5%)・工業用水(達成率91.5%)・産業廃棄物(達成率96.8%)となりました。

2024年度も工場照明のLED化、モーターのインバータ化等の更なる省エネ改善と生産性の向上を図ることで目標達成を目指します。

—以上—